

平成18年度介護保険事業状況報告（年報）の概要

1. 一般状況

(1) 第1号被保険者のいる世帯数

第1号被保険者のいる世帯数は、平成18年度末現在（平成19年3月末。以下同じ。）で1,915万世帯となっている。前年度末現在(1,854万世帯)に比べ61万世帯（3.3%）増となっている。

(2) 第1号被保険者数

第1号被保険者数は、平成18年度末現在で2,676万人となっている。そのうち、前期高齢者(65歳以上75歳未満)は、1,450万人、後期高齢者(75歳以上)は、1,226万人で第1号被保険者に占める割合は、それぞれ54.2%、45.8%となる。(1表)

前年度末現在に比べ前期高齢者38万人(2.7%)増、後期高齢者51万人(4.3%)増、計89万人(3.4%)増となっている。

1表 第1号被保険者数の推移(年度末現在)

(単位:千人)

区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
65～75歳未満	13,192	13,424	13,709	13,736	13,871	14,125	14,501
75歳以上	9,231	9,744	10,225	10,758	11,240	11,753	12,262
計	22,422	23,168	23,934	24,494	25,111	25,878	26,763

(3) 要介護（要支援）認定者数

要介護（要支援）認定者（以下「認定者」という。）数は、平成18年度末で440万人。うち第1号被保険者425万人、第2号被保険者15万人となっている。(2表)

前年度に比べ第1号被保険者8万人(1.8%)増、第2号被保険者0.2万人(1.3%)増となっている。

認定を受けた第1号被保険者のうち前期高齢者は66万人、後期高齢者は359万人で第1号被保険者に占める割合は、それぞれ15.5%、84.5%となっている。

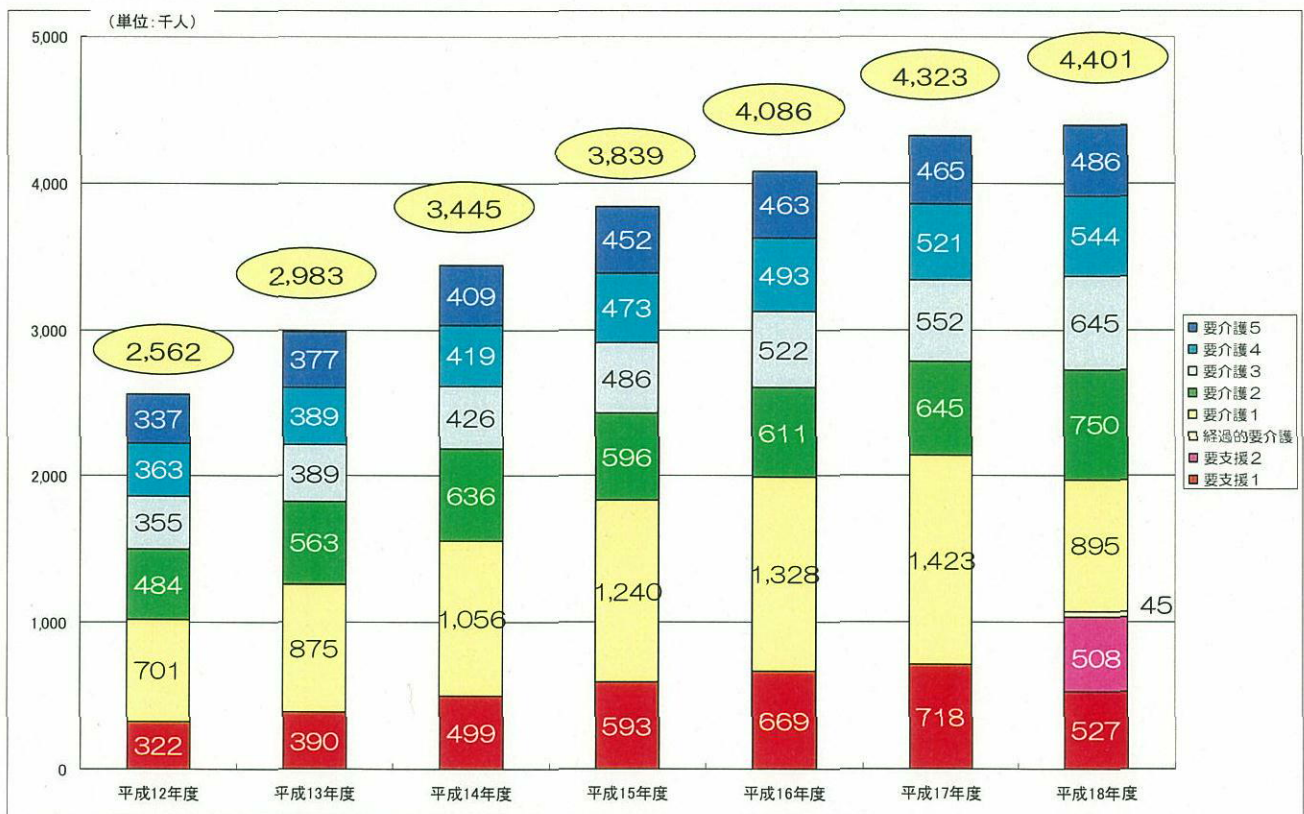
認定者を要介護度別にみると、要支援1：53万人、要支援2：51万人、経過的要介護：5万人、要介護1：90万人、要介護2：75万人、要介護3：64万人、要介護4：54万人、要介護5：49万人となっており、要介護度が軽度（要支援1～要介護2）の認定者が約61.9%を占めている。

2表 認定者数(18年度末現在)

(単位:千人)

区分	要支援1	要支援2	経過的要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	519	490	45	869	717	620	526	467	4,251
65歳～75歳未満	87	87	7	132	118	93	72	66	661
75歳以上	432	403	38	737	598	527	454	401	3,590
第2号被保険者	9	18	1	27	33	25	18	20	150
総数	527	508	45	895	750	645	544	486	4,401
構成比	12.0%	11.5%	1.0%	20.3%	17.0%	14.6%	12.4%	11.1%	100.0%

図1 認定者数(年度末現在の推移)



※■は、平成12～17年度は「要支援」、平成18年度は「要支援1」。

(4) 第1号被保険者に占める認定者の割合

第1号被保険者に占める認定者の割合(18年度末現在)は、全国平均で15.9%となっており、地域別には、徳島県、長崎県、和歌山県などが高く、埼玉県、千葉県、茨城県などが低くなっている。(3表)

また、要介護度が軽度(要支援1～要介護2)の認定率は、地域格差が大きいところでは、約2倍の格差があるが、重度(要介護3～5)では、大きな格差はない(図2)。

なお、認定者の割合は前年度(16.1%)に比べ全国平均で0.2%の減である。